

じんけん

啓発誌 2026年

通巻 88号

令和8年度 第1回人権講演会

「“見た目”にまつわる悩みはどこからくるの？
ー広告観察を通して考えるジェンダー表現とルッキズム」

講師 小林美香氏（東京造形大学・九州大学非常勤講師）



第2回人権講演会は
日程を調整中です。
（アーカイブ配信の
予定）

ルッキズムとは「外見や容姿を基準に人を評価・差別する価値観や行動」のことです。私たちは、美容関連の広告を通して、「あなたは周囲から見られている」「ムダ毛を処理していないと、就職面接での印象が悪い」「デキる男性は外見を整える」など不安を煽られ、「外見がよい」ことが社会的な成功と自分の価値に直結するという価値観を刷り込まれます。このような誰かが設定している画一的な美しさの基準に則して自分をランク付けさせられています。

たとえば、ヘアケア製品の広告では、女性向けはパステルカラーの明るい雰囲気の中、「よい香りでサラサラ」の長い髪で魅力的になる姿が描かれています。男性向けは効能を中心に据え、「あきらめるな、男だろ」などの強圧的な言葉が提示されています。女性には美しさ、男性には実用性という異なるメッセージによって、性別二元的な「あるべき姿」が示されます。また、美容製品の広告には白人のモデルが起用されることが多く、そこには白人的容姿を理想とする構造があることを認識する必要があります。

アメリカの作家・公民権運動家のジェームズ・ボールドウィンは、「直面したからといって、すべてを変えられるわけではない。だが、直面しなければ何ひとつ変えられない」という言葉を残し、自分自身の見方を示し、社会に対する態度を表明することの大切さを説いています。

も く じ

- P 2 第15期人権会議委員の紹介
- P 3 ふじのくに人権宣言・静岡県人権啓発センターの紹介
- P 4 人権ライブラリー ～新着DVD・書籍の紹介～
- P 5 令和8年度事業計画



静岡県人権会議 第15 期委員の紹介 五十音順敬称略

 安藤 雅之 常葉大学 大学院 学校教育研究科教授	 笹原 恵 静岡大学 学術院 情報学領域教授	 澤野 文彦 一般社団法人静岡県 精神保健福祉士協会 監事
 鈴木 恵子 認定NPO法人 魅惑的倶楽部理事長	 津田 薫 静岡県人権擁護委員 連合会会長	 洞江 秀 弁護士
 長尾 吉郎 NHK静岡放送局 コンテンツセンター長	 成岡 桂子 社会福祉法人静和会 理事	 根本 猛 静岡県人権啓発センター長
 灰谷 和代 静岡福祉大学 子ども学部准教授	 松本 敬人 島田市番生寺会館 前館長	 ヤマモト ルシア エミコ 静岡大学 教育学部教授

〇〇〇〇 新任委員からのメッセージ 〇〇〇〇


酒井 郷平
常葉大学教育学部准教授

情報社会の進展に伴い、誰かを傷つける言葉の拡散、偏見の助長、プライバシーの侵害など、ネットや SNS においても人権をめぐる問題は身近なものになっています。多様な人々が交流できるようになった社会だからこそ、一人ひとりが考え方の違いを超えて、互いの尊厳を認め合える社会であってほしいと考えています。一人ひとりの意識と行動の積み重ねが、人々が安心して暮らせる静岡県の実現につながると信じています。


長房 香織
静岡県手をつなぐ育成会評議員

知的障害のある子どもを持つ親として、その子らしい笑顔で暮らすことのできる優しい社会であることを願って日々活動しています。が、最近ふと親である私は子どもの人権を意識していただろうか…無意識のうちに「知的障害があるから」という枕詞を付け、自分の人生の一部として子どもを捉えていなかったのだろうか…と、自身を見つめなおしております。子どもを一人の人として尊重した上で、彼らの代弁者でありたいと思います。


望月 亜矢子
自立生活センター富士代表

「彩りある暮らしを仲間とともに」を理念に障害者の自立支援をしています。

自己選択・自己決定・自己責任は、自立生活の基礎で、その権利を行使するために支援を必要とする人たちに寄り添い、多くの選択肢を示しながら、自分らしい色を選び取れるよう支えていきます。

仲間を誘導するのではなく、一人ひとりが自分らしい人生や暮らしを選び決められるよう、ともに考え、ともに歩んでいきます。

地域住民との関わりや経験を通して、それぞれの暮らしに彩りを重ねられたら素敵だなと思っています。



「ふじのくに人権宣言」を知っていますか

静岡県人権会議は、平成 16 年(2004 年) 12 月に開催された「ふじのくに人権フェスティバル」の中で、「ふじのくに人権宣言」を発表しました。この宣言は、人権が尊重される社会の実現にむけ、具体的な取組を掲げています。

価値観が多様化している今だからこそ、「ふじのくに人権宣言」を確認し、身近なところから取組を実践してみませんか。

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」

この世界人権宣言第 1 条は、人類社会の至高の理想と私たちがいかに生きていくべきかを示しています。

その実現に向けて、人権問題の多くに内存する差別意識を解消するとともに、お互いの人権を尊重し合う社会を築いていきます。

そのために、私たちは毎日の生活の中で、次のことを実践します。

- 1 自分の人権はもちろん、他人の人権をも敏感に感じる心を養います。
- 2 日ごろから人権問題に関心を持ち、自分自身の問題として考え、行動します。
- 3 家庭や地域社会、職場などで、人権問題について話し合う機会を作ります。
- 4 個性の多様性を受け入れ、異なる個性と共存していくという意識を持ちます。

静岡県人権啓発センターの紹介

静岡県人権啓発センターでは、日常生活の中で県民一人ひとりに人権尊重の意識が定着し、誰もが幸せに暮らせる静岡県の実現に向け、県民に広く開かれた人権啓発の拠点として、次のような取組を行っています。

お気軽にお問合せください。

○人権を考えます

講演会、セミナー、人権啓発イベントの開催

○人権を広めます

- ・啓発誌「じんけん」の発行、啓発冊子「だれもが幸せに」の作成
- ・インターネット等による広報・啓発

○研修や学習を支援します

- ・出前人権講座（講師派遣） ※講師料や交通費は不要です。
- ・ビデオ、DVD、書籍の貸出・閲覧（ホームページに一覧があります）
※郵送等による貸出は、返却時の送料のみ利用者負担となります。

○リーダーを養成します

人権啓発指導者養成講座の開催

○相談に応じます

電話相談・面接相談 月～金（年末年始・祝休日を除く）

午前 9：00 ～午後 4：30

※面接相談は**予約が必要**です。あらかじめご連絡ください。

TEL 054-221-3330

人権啓発センターライブラリーからのご案内

★ 新着DVD

名 称	内 容
カスタマーハラスメント2 公務職場のカスタマーハラスメント対策 (33分)	市役所の窓口を舞台にした事例ドラマで展開。公務職場におけるカスハラと現場でとるべき対応を学ぶ。
ジェンダー平等への挑戦 誰もが生きやすい社会に向けて (21分)	世界や日本、自治体や企業でのジェンダー平等を目指す取組を紹介。多様な性のあり方についても解説。
発達障害をどう理解する？どう支援する？ 特性を活かせる教育現場とは・・・ (26分)	発達障害、こどものための環境作りを学び、特性のある子どもとの向き合い方を考える。
みんなの情報モラルI アニメーションで学ぶ！ ネット社会のルールとマナー (43分)	ネットやスマホを安全に安心して利用するためにルールやマナー、使い方等の基本的知識を学ぶ。
みんなの情報モラルV アプリと上手につきあうために (20分)	トラブルに巻き込まれることもあるアプリ。楽しく安全に使うための考え方や設定の見直し等を学ぶ。

★ 新着書籍

＜人権全般＞

- 「多様性時代」の人権感覚：事例に学ぶ人権ノート

＜ジェンダー＞

- 日本の女性・ジェンダーのいちばんわかりやすい歴史の教科書 ●ジェンダーで学ぶ社会学〔第4版〕
- 働くわたしの仕事地図 長く幸せに働くために知っておきたい40のTOPICS

＜こども＞

- 世界中の子どもの権利をまもる30の方法 ●これから大人になるアナタに伝えたい10のこと
- 1年1組せんせいあかね こどものつぶやきセレクション

＜高齢者＞

- 介護未満の父に起きたこと

＜障害者＞

- 障害のある10代のための困りごと解決ハンドブック：あなたがあなたらしく生きるためのヒント

＜部落差別（同和問題）＞

- 〈寝た子〉なんているの？見えづらい部落差別と私の日常 ●差別する人の研究

＜外国人＞

- 人種差別をしない・させないための20のレッスン アンチレイシストになろう！ ●半分姉弟

＜感染症＞

- 無意味なんかじゃない自分 ハンセン病作家・北條民雄を読む

＜その他＞

- 遺骨と祈り ●孤独と居場所の社会学 なんでもない“わたし”で生きるには
- メディアリテラシー 吟味思考を育む ●LGBTとハラスメント
- 35歳の哲学者、遺伝性がんを生きる それでも子どもを望むということ
- ※ このほか、DVD、書籍等多数揃えています。

★貸出に際しての留意事項

貸出申請	所定の様式
貸出数	書籍…1回につき5冊以内 DVD・ビデオ…1回につき3本以内
貸出期間	15日以内
受付時間	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:30 祝日、年末年始(12/29～1/3)は除きます。
※御希望の資料が貸出中の場合もありますので、事前にお問い合わせください。TEL054-221-3330	
※ライブラリー閲覧スペースにて、視聴も可能です。	
※郵送等による貸出は、 返却時の送料のみ利用者負担 となります。	

静岡県人権啓発センター 令和8年度事業計画

月	内 容	※詳細はホームページ等で御確認ください。
-	〔人権啓発センターの事業〕	〔人権関係カレンダー〕
4月		2日 ・世界自閉症啓発デー 2～8日 ・発達障害啓発週間
5月		3日 ・憲法記念日 5～11日 ・こどもまんなか児童福祉週間 12日 ・民生委員・児童委員の日
6月		6月 ・男女雇用機会均等月間 1日 ・人権擁護委員の日 22日 ・らい予防法による被害者の 名誉回復及び追悼の日 23～29日 ・男女共同参画週間
7月	8日～28日:第1回人権講演会(アーカイブ配信)	7月 ・「社会を明るくする運動」 強調月間 1日 ・更生保護の日
8月	4日～24日:人権啓発指導者養成講座(全9講座)(アーカイブ配信) 18日:第1回こどもと大人の温かい絆づくりセミナー (静岡市内) 22日:パラスポーツ体験(「フェスタシズウエル 2026」内で開催)	
9月		9月 ・障害者雇用支援月間 10～16日 ・自殺予防週間 15～21日 ・老人週間(15日は老人の日) 21日 ・国際平和デー
10月	30日～11月20日:第2回こどもと大人の温かい絆づくり セミナー(アーカイブ配信)	10月 ・高齢者就業支援月間
11月		11月 ・秋のこどもまんなか月間 ・子ども・若者育成支援 強調月間 ・過労死等防止啓発月間 12～25日 ・女性に対する暴力を なくす運動 25～12/1日 ・犯罪被害者週間
12月	人権週間を中心に インターネット広告、ポスター等による啓発広報 17日:静岡県人権フェスティバル (掛川市内・静岡県人権啓発活動ネットワーク協議会主催)	1日 ・世界エイズデー 3～9日 ・障害者週間 4～10日 ・人権週間 10日 ・人権デー
1月		
2月		
3月		3月 ・自殺対策強化月間 3～9日 ・愛の援聴週間
〔日程調整中〕第2回人権講演会、企業と人権セミナー		

※アーカイブ配信は、事前収録した講座の動画を期間限定で「YouTube」に公開します。

年間を通じた
取組

☆啓発誌「じんけん」Web掲載(3回) ☆ホームページによる情報提供
☆講師派遣(出前人権講座) ☆DVD・ビデオ・図書等の貸出し・閲覧
☆「だれもが幸せに」、「人権リーフレット」等の資料提供 ☆人権相談

令和8年8月発行

静岡県健康福祉部福祉長寿局地域福祉課人権同和対策室(静岡県人権啓発センター)

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館 4階

TEL 054-221-3330 FAX 054-221-1948

メール jinken@ace.ocn.ne.jp

ホームページはこちらから▶

静岡県人権啓発センター

検索

